社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）長野林業土木協会

活動内容	大阿原湿原遊歩道整備ボランティア活動

１　実施年月日　：　令和元年７月３１日
２　実施場所　　：　長野県伊那市　黒河内国有林 220 イ林小班
３　参加会員数　：　天竜支部伊那・諏訪地区協議会　５企業　８人
　　南信森林管理署職員　　６人
　　上伊那農業高校生徒　２０人　　計　約３４人
４　活動内容：

入笠山大阿原湿原（標高約１，８１０ｍ）は、高層湿原としては国内最南端にあり、面積は約１２ha、外周に１．７kmの散策道があり、南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク、南アルプスユネスコエコパーク内に位置している。

今年も、この散策道の中で壊れた展望台の板の交換や木道の修繕、腐食した杭の交換、看板の交換、緩んだグリーンロープの締め直し、散策路を覆う笹の刈り払いと清掃などを、上伊那農業高等学校の生徒に実技指導を行いながら、整備を行った。

当日は会員と中部森林管理局南信森林管理署の職員、上伊那農業高等学校２年里山コースの生徒の合わせて３４人が参加した。

このボランティア活動は、林業土木の専門的な知識と技術を伝えるとともに環境保全への理解を深めるための体験実習と社会貢献活動を兼ねて行っているものであり今年で１５回目となる。

当協会では、平成２４年から林業土木のプロとして生徒の技術指導に当り、今年も、６月から関係者と打合せ等を行ってきた。

当日は、湿原を訪れる観光客等に自然を満喫していただくために、上伊那農業高等学校の生徒は、南信森林管理署職員及び地区協会員の技術指導のもと手際よく作業を行っていた。

活動写真・報道

南信森林管理署職員と集合写真

始めの会（南信森林管理署長挨拶）

森林教室

作業開始前の打合せ

展望台の板材の交換

腐植した杭の交換

看板の交換

遊歩道の整備

遊歩道の整備

終わりの会